

地域密着型グループホーム りんどう

令和2年度 第4回運営推進会議議事録

日 時 令和2年10月23日（金） 11:10～11:30

場 所 ラック多目的室

出席者 （敬称略）

民生児童委員会会長	戸川 賢一
北校区区長会長	林 千秋
地域代表（北一色区長）	吉田 浩章
地域包括支援センター所長	山田 ますみ
認知症ケア管理指導士	菅谷 治雄
利用者家族代表	馬淵 純一
利用者家族代表	譲 法子
利用者家族代表	橘 徳三
利用者家族代表	戸川 義博
統括施設長	小島 隆之介
りんどう管理者	黒田 留美子
ラック業務部長	堀口 靖人
ラック西棟リーダー	高橋 智子

欠席者 なし

議 題

1. 新入参加者自己紹介
2. 議事進行資料説明（特養）
利用者、ヒヤリハット・事故報告、対策について
3. 身体拘束
4. 行事報告
5. その他

議 事

1. 議事進行資料説明
特養 利用者数、介護度内訳、利用状況
ヒヤリハット・事故報告 対策（8月 9月）

上記内容は議事進行資料参照

2. 身体拘束廃止

スピーチロック撲滅月間取り組み報告

3. 行事報告

8月9月に行った行事の報告 詳細は議事進行資料参照

行事の内容、利用者のご様子を報告

4. 地域貢献交流活動 「つなぐ」について

新型コロナ感染防止のため活動休止中

5. その他

<北一色区長>りんどう祭りは地域との接点であり、開催できる様になる事を

望んでいます

<区長会長>マスコミを通じて介護の大変さを感じていた。会議の内容を認識して伝えていきたい。

<民生委員長>今回会議が開催でき、皆さんの意見や合議が出来てよかった。ラック映画館の取り組みは昔のことを思い出し、脳の活性化に繋がる。今後も取り組んでほしい。

<認知症ケア専門士>感染予防に気を付けてもらっている。職員が気を付けてもらうことで持ち込み、感染の危険を回避してもらえている。

コロナ感染拡大による認知症の人の実態調査の資料提供いただく。

<地域包括所長>職員も利用者も家族もコロナ疲れが考えられる。変化に対応できる取り組みに頭が下がる。ヒトとの繋がりを大事にしてほしい。

<家族代表>1年近く面会していない。会っても分からないだろうが外へ連れ出せるようになったらと思っています。歯科受診が出来てよかった。今日の報告で事故が少なくなり安心した。誕生日の写真がよかった。

<施設長>コロナ対策として持ち込まないことに気を付けている。職員も行動制限などの張りつめて状態が続いている。マスク着用、手洗い、換気、密を避けることを重点的に取り組んでいる。コロナ対策も一般に浸透してきたことで、ご理解していただき有り難い。インフルエンザ対策も併せて、継続して取り組んでいきます。隣に歯科が開院したことで今まで以上に口腔ケアに関わって貰えることで、健康管理に重要な環境づくりが出来た。

次回の運営推進会議 開催予定 令和2年12月17日(木) 11:10～

